

組織的調査研究活動推進事業

I 調査目的

近年のスルメイカ資源の減少傾向は、単に小泊村だけでなく、スルメイカ漁業に依存度の高い本県日本海沿岸漁村全体の問題でもあるが、特にスルメイカ漁業に依存している、小泊村の漁業経営状態は困窮している。

この対策としてイカ資源に代る新たな資源開発について、日本海沿岸町村から強く要請されているが、地元漁民の要望及び地域の問題点を、研究面だけでなく、総合的に汲みあげ、関係団体と協議会を開催して経営安定の方策を見出し、小泊村の例を以って類似漁村の経営安定対策を確立する。

II 調査内容

1. 調査期間 昭和54年4月～55年3月
2. 調査場所 北津軽郡小泊村
3. 担当者 総括担当者 青森県水産試験場
場長 馬場勝彦
事務担当者 漁業部長 富永武治

4. 調査項目及び方法

(1) 調査項目

- A 問題点及び要望の抽出
- B 目的達成のための方策の検討

(2) 調査方法

- A 問題点及び要望の抽出については現地協議会を開催して関係団体から意見を聴取する。
- B 目的達成のための方策として
 - a. アンケート調査を全漁民を対象として行なった。
 - b. トン数階層別に10%抽出、漁業経営調査を実施した。

III 調査結果

昭和52～53年に八戸市を地域指定した経営から、地元関係者と県を網羅した調査班を結成し、この組織を中心に、地域の問題点、振興対策を検討することとした。

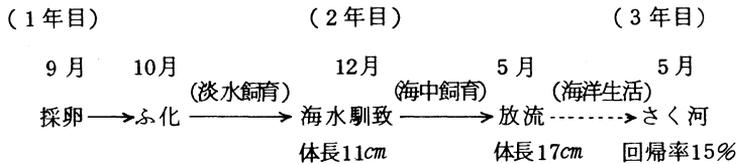
1. 現地協議会によって第1表に示すとおり要望、問題点が抽出された。
2. 全漁民を対象とした、小泊村漁業振興にかかわるアンケート調査を実施した。(第2表)
3. 動力船トン数階層別に10%抽出、漁業経営調査を実施した。これは、小泊、下前両地区で、それぞれ

れ10%の漁船漁業経営体を抽出し、漁船のトン数、階層により7段階に区分し、それぞれの階層毎に漁業収入、漁業所得、所得率、漁業経費及び燃料率を求めこれを過去の調査（36年及び34年）と比較検討した。（第3表）

② サクラマス 海中飼育施設及び消波施設の設置

㊤ 幼魚の海中飼育放流

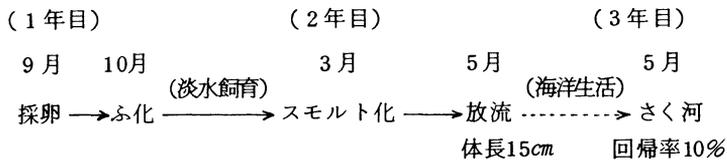
次の手順でスマルト化以前の幼魚を海中飼育として放流する。



- 淡水飼育……保護水面内に淡水飼育施設を建設
- 海水馴致……海中飼育施設の近傍に簡易な陸上施設を設置
- 海中飼育……消波施設を設置し、その内側で網生簀飼育を行う
(保護水面の近隣に建設)

㊥ スマルトの放流

淡水で飼育し、スマルト化したものを放流する。



- 淡水飼育……保護水面内の淡水飼育施設で飼育
- 放流場所……保護水面

4. これらの内容については現地協議会において、関係団体に公表すると共に方策の検討を行なった。

IV 今後の課題

従来は行政、研究及び普及部門がそれぞれその地域の課題に対応しており、小泊村としては効率的な効果を期待しているところであるが、本事業の実施により総合的な要望、問題点に対応できたことは画期的なことであり、今後更にきめこまかい対応策が可能となった。特に底曳網漁業の操業区域規制問題については、単に小泊だけの問題でなく共通した問題を抱えている他の地区と歩調を合わせて国の方に働きかけ、解決の方向を見出すべきである。

調査班運営要綱

(目的)

1. 日本海におけるスルメイカ資源の衰退に伴ない、これに依存の大きい沿岸漁民の経営が困難になってきたため、特に本県日本海漁村の中核である小泊村を組織的調査研究活動推進事業にもとづく地域に指定し、地域と県が一体となり漁村振興の実を挙げようとするものである。
2. 調査班は地域漁業の全般にわたり、問題点の抽出及び解決につき、一体となって検討し、夫々の立場においてなすべき役割を果たすものとする。
3. 調査班は水産部漁政課長、水産課長、振興課長、小泊村長、県水産試験場長、県水産増殖センター所長、鯉ヶ沢地方水産業改良普及所長、小泊漁業協同組合長、下前漁業協同組合長をもって組織する。
4. 班長の選任
班長は水産部各課長及び県水産試験場長の互選により選任する。

(会議の招集)

5. 会議の招集は班長がおこなう。

(事務局)

6. 調査班の事務は県水産試験場が処理する。

(雑則)

7. 本要綱に定めないものについて必要のある場合は調査班会議において定める。

(施行)

8. この要綱は昭和54年6月8日から施行する。

調査班員名簿

青森県漁政課長	飯田	実
下前漁業協同組合長	磯野	与三郎
青森県水産増殖センター所長	伊藤	進
小泊漁業協同組合長	今	与造
青森県振興課長	斉藤	健
青森県水産課長	田名部	政春
○青森県水産試験場長	馬場	勝彦
鯉ヶ沢地方水産業改良普及所長	長谷川	馨
小泊村長	藤田	啓代

注 ○印…班長

第1表 地域の要望，問題点一覧表

	小 泊 漁 協
要 望 問 題 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. イカの不漁対策として，サケふ化場の建設を進めてもらいたい。 2. アワビの増養殖について，村当局と一諸になって本格的稚目の中間育成，放流を進めていきたいので指導願いたい。 3. 冬期間の沿岸漁業として，底建網の普及を考えているので，先進地等の調査を願いたい。 4. 底建網の普及をはかるうえからも，底曳網漁業の禁止ラインの問題解決を早急に進めてもらいたい。 5. 大型船を対象とした日本海沖合資源（スケトウ，マダラ，アイナメ等）の開発調査を研究機関で実施してもらいたい。 6. アワビ養殖はここ5～6年実施してきているが密漁がたえない。常時，何時でも出動監視をできる態勢をとってもらいたい。 7. ヤリイカ敷網の光力については規制があるが，殆んど守られていない。燃料も窮屈になっているので，光力規制の監視をもっと強めてもらいたい。 8. スルメイカ漁業の操業期間を短縮すると共に産卵期の禁漁を考えるべきである。 9. 青森県漁業調整規則が20年前と同じである。改正すべきではないか。 10. 底曳漁業の禁止区域の線を，共同漁業権外に出してもらいたい。 11. アワビ放流場所には，山の石が特に良いといわれている。山の石を投石してアワビの餌場を造ってもらいたい。

	下 前 漁 協
要 望 問 題 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 200カイリ時代に入って沿岸漁業が非常に狭くなってきているので沿岸漁場整備のため，大型魚礁の設置を積極的に進めてもらいたい。 2. アワビの稚目を放流しても餌となる海藻が少い。海藻団地の造成等今後考えてもらいたい。 3. 3～4年前より先進地の技術を導入して，底建網の共同経営を組合で助成して実施させているが，有望なので今後更に技術指導をお願いしたい。 4. 岩木川～十三瀨を経て海に流出してくる木の根や汚物のため底建網等に被害がでている。岩木川周辺の清掃を実施してもらいたい。 5. 底曳漁業の操業区域から沿岸漁業を守るため，共同漁業権の沖出しを5,000m位迄出してもらいたい。 6. 底曳漁業で小さい魚を多量に海に放棄している。底曳網の網目の制限について監視すると共に網目をもっと大きくしてもらいたい。

	下 前 漁 協
要 望 問 題 点	<p>7. 車力沖に地蒔放流したホタテ貝を守るため、吾智網の操業について規制を考えてもらいたい。</p> <p>8. 燃料の流通については海上、陸上を問わず対策は講じているが県の方でも流通対策を立ててもらいたい。</p> <p>9. 日本海マス漁業の操業期間が北海道と本県で違った設定がなされている。本県の実情に合わせた期間設定を関係組合の意見を聞いて設定してもらいたい。</p> <p>10. ソ連の200カイリ規制で日本海マス漁業は豊漁年でも不漁している。カニカゴ漁業、エビカゴ漁業等日本の200カイリ内で出来る漁業の許可についてもっと拡大してもらいたい。</p> <p>11. 漁業政策は農業政策に比べ余りにも政策が小さい。水産行政について大きな政策を考えてもらいたい。</p>

	小 泊 村
要 望 問 題 点	<p>1. 54年度が水振事業が指定になったので、アワビの稚貝育成等について今後協議会を造って進めて行きたいので関係機関の指導をお願いします。</p> <p>2. 日本海のスケ、マス増養殖については北海道、秋田、岩手の各県からみて青森県は技術が遅れている。青森県の日本海側にも2～3ヶ所大規模なふ化場を造って遅れている技術に追付いてもらいたい。</p> <p>3. ホタテ地蒔養殖は、昨年県が車力沖にかけて行なったが今年もぜひ実施して成功させてもらいたい。</p> <p>4. 試験研究機関及び水産業改良普及所が当村より離れている。何とか近くに持ってこれないか、検討していただきたい。</p>

小泊村漁業振興にかかわるアンケート調査 (小泊, 下前)

この調査は今後の小泊村漁業振興の方向付けに大きな役割を果たすことになるので、ご協力をお願いいたします。

問1 あなたの経歴と就業の内容を記入して下さい。(該当するところに○)

1. 住 所	2. 性 別	3. 年 令	4. 漁業形体	5. 就業形態	6. 漁業経験年数
小 泊 下 前	男 女	才	漁業専業 漁業兼業	自 営 やとわれ	年

7. 主な漁業種類

ア. 釣漁業 イ. 縄漁業 ウ. 刺網漁業 エ. 建網漁業 オ. 籠漁業 カ. その他の漁業

問2 あなたは漁業について、どう考えますか。

<p style="text-align: center;">1. 職業として</p> <p>ア. 漁業はやりがいがある</p> <p>イ. 他の職業がないからやっている</p> <p>ウ. その他</p>	<p style="text-align: center;">2. 将来性について</p> <p>ア. 漁業は希望がもてる</p> <p>イ. 漁業だけでは食べていけない</p> <p>ウ. その他</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

問3 あなたは今後も漁業を続けますか。

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. はい</p> <p>ア. やりかたによっては将来性があり、自信がある</p> <p>イ. 漁業以外も兼業すれば生活できる</p> <p>ウ. 今更、他の職業につくことはできない</p> <p>エ. その他</p> | <p>2. いいえ</p> <p>ア. 漁業には将来性がない</p> <p>イ. 漁業では生活できない</p> <p>ウ. 他により職業を見付けて転業したい</p> <p>エ. その他</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|

問4 あなたは現在利用している資源に対して、どのように考えていますか。

いかつり漁業	ます(延縄、刺網)漁業	めばる漁業	建網(底建を含む)漁業	その他(具体的に書く)
<p>ア. 今までどおりでよい</p> <p>イ. 操業隻数を増加してもよい</p> <p>ウ. 操業規模を大きくしてもよい</p> <p>エ. このままでは資源がなくなるので規制した方がよい</p> <p>オ. 規制はどうすればよいか</p> <p>1) 減船する</p> <p>2) 操業期間を規制する</p> <p>3) 漁具制限をする</p> <p>4) 漁獲を制限する</p> <p>カ. 増殖対策を考える</p> <p>キ. その他</p>	<p>ア.</p> <p>イ.</p> <p>ウ.</p> <p>エ.</p> <p>オ.</p> <p>1)</p> <p>2)</p> <p>3)</p> <p>4)</p> <p>カ.</p> <p>キ.</p>	<p>ア.</p> <p>イ.</p> <p>ウ.</p> <p>エ.</p> <p>オ.</p> <p>1)</p> <p>2)</p> <p>3)</p> <p>4)</p> <p>カ.</p> <p>キ.</p>	<p>ア.</p> <p>イ.</p> <p>ウ.</p> <p>エ.</p> <p>オ.</p> <p>1)</p> <p>2)</p> <p>3)</p> <p>4)</p> <p>カ.</p> <p>キ.</p>	

問5 あなたは現在のままで操業すれば、資源がなくなってしまうと考えているのは、どんな魚ですか。具体的に魚名を書いて下さい。

問6 あなたは現在より隻数を増加しても、大丈夫採れると考えているのに、どんなものがありますか。具体的に魚名を書いて下さい。

問7 あなたはどのような資源を調査、開発してほしいと思いますか。

ア. 浮魚類 イ. 底魚類 ウ. イカ類 エ. その他

問8 あなたは今後、どんな漁業をやりたいと思っていますか。

ア. 刺網漁業（具体的に記入例カレイ刺網） イ. 底建網漁業（具体的に記入例タラ底建網）

ウ. 延縄漁業（ " サメ延縄） エ. 籠漁業（ " カニ籠）

オ. その他の漁業（それは何業ですか）

問9 あなた自身が現在利用している漁場について、どのように考えていますか。

ア. 十分な広さだと考えている イ. 狭くて困っている。

ウ. 漁業種類毎に漁場が定められているが、もっと秩序ある使い方をした方がよい エ. その他

問10 あなたは現在漁業を営むにあたり、労働力についてどのように考えていますか。

ア. 十分だと考えている イ. 老化して困っている ウ. 不足している。あと_____人はほしい エ. その他

問11 あなたが獲ってきた漁獲物の市場価格について、どのように考えていますか。

ア. 適正な価格だと思っている イ. 他の地区に比べて安いと思っている ウ. その他

問12 あなたは小泊村の水産加工について、どのように考えていますか。

ア. 大規模な加工場があればよい。 1) それはどんな加工場ですか？（具体的に）

イ. 加工場があっても関係ない ウ. その他

問13 あなたは、小泊村の養殖漁業について、どのように考えていますか。

ア. ここでは時化が多いからできない イ. 漁船漁業をやっているので、養殖に向ける時間がない

ウ. どのような養殖をやればよいかわからない エ. その他

問14 あなたは小泊村の漁業を発展させるには、どのようなことをしたらよいと考えますか。何でもよいから考えていることを書いて下さい。

問15 現在使用している漁船について。

1. _____トン _____馬力である 2. 船型について イ. 快適いいと思っている ロ. 小さいので _____トン型にしたい

ハ. 大き過ぎるので _____トン型にしたい

問16 漁業操業日数について

イ. 年間50日未満 ロ. 年間51～100日未満 ハ. 年間101～150日未満 ニ. 151～200日未満 ホ. 201～250日未満

☆アンケート記載要領 1 該当する番号又はイ、ロ……に○をつけること 2 _____印の上に記入すること。

3 その他又は具体的に欄には思っていることを考えてください。

第2表 アンケート調査結果概況

1. 回答率

小泊	81% (101名中82名)
下前	79% (61名中48名)

2. 経営者、やとわれ別回答率

	経営者	やとわれ
小泊	84%	16%
下前	77%	19%

注1. 地区別に回答者を100%とした
2. 以下同じ

3. 漁業種類別回答率

	釣漁業	建網漁業	刺網漁業
小泊	83%	4%	6%
下前	79%	13%	4%

4. 漁業に対する意識

	他に転業がないからやっている	漁業はやり甲斐がある
小泊	54%	34%
下前	42%	15%

5. 漁業の将来性に対する意識

	漁業だけでは食べていけない
小泊	82%
下前	58%

6. 今後の漁業継続について

	続ける	続けない
小泊	92%	8%
下前	92%	8%

7. 資源に対する意識

魚種名	地区名	規制した方がよいか	規制の方法		今のままでよい	増殖対策	
			操業期間の短縮	漁具の制限		考える	考えない
(1) いか	小泊	79%	30%	16%	17%	31%	69%
	下前	67%	30%	12%	31%	31%	69%
(2) ます	小泊	60%	58%	5%	29%	24%	76%
	下前	64%	8%	13%	27%	36%	64%
(3) めばる	小泊	65%	46%	35%	35%	15%	85%
	下前	61%	20%	15%	29%	26%	74%
(4) 建網	小泊	61%	33%	7%	35%	20%	80%
	下前	40%	11%	22%	25%	28%	72%

8. 現在のまま操業するならば資源がなくなると考えられるもの

	スルメイカ	メバル	マス
小泊	46%	38%	6%
下前	40%	21%	18%

9. 現在よりも隻数を増やして大丈夫と考えられるもの

	ない	ベニズワイ	マス	サバ
小泊	65%	19%	3%	3%
下前	25%	0	23%	7%

10. 開発してほしい資源

	底魚	イカ	浮魚
小泊	44%	36%	14%
下前	36%	39%	16%

11. 今後やりたいと思っている漁業

	刺網	底建網	籠漁業
小泊	28%	19%	41%
下前	38%	19%	19%

(1) 刺網対象魚種

	タラ	メバル	スケトウタラ
小泊	50%	25%	25%
下前	60%	27%	7%

(2) 底建網対象魚種

	タラ	ヒラメ
小泊		17%
下前	50%	50%

(3) 籠対象魚種

	カニ	エビ	ツブ
小泊	25%	25%	25%
下前	50%	25%	25%

12. 現在利用している漁場についての意識

	十分な広さだ	狭くて困る	秩序ある使い方が必要
小泊	9%	49%	40%
下前	11%	37%	20%

13. 労働力についての意識

	十分だ	老令化で困る	不足だ
小泊	42%	24%	22%
下前	63%	15%	19%

(1) 労働力不足の度合

	1人不足	2人不足	3人不足
小泊	43%	43%	14%
下前	17%	83%	

14. 魚価についての意識

	他地区より低い	適正だ
小泊	93%	4%
下前	59%	31%

15. 村内の水産加工について

	大規模加工場が必要	加工場はいらない
小泊	71%	17%
下前	56%	25%

16. 養殖に関する意識

	養殖まで手が回らない	時化が多く不可能	何をやればよいかわからない
小泊	26%	34%	27%
下前	37%	29%	23%

17. 村の漁業発展に対する考え

	増養殖	資源問題	漁船漁業	生産基盤
小泊	38%	15%	15%	11%
下前	22%	20%	18%	22%

	行政	流通加工	試験研究
小泊	11%	4%	6%
下前	10%	7%	3%

18. 漁船規模に関する意識

	今のままでよい	大きくしたい	小さくしたい
小泊	58%	24%	5%
下前	68%	7%	10%

(1) 大型化したい人の現有規模と希望の規模

		希 望 規 模			
		1.5 トン	3.0 トン	3.5 トン	4.5 トン
小 泊					
現在 規模	5 トン未満	1 人	2 人	1 人	1 人
		希 望 規 模			
		4.9 トン	7.0 トン	9.9 トン	
小 泊					
現 在 規 模	5 トン未満	11 人	3 人	3 人	
	5 ~ 9.9 トン				
	30 ~ 49.9 トン		1 人		
	75 ~ 99.9 トン		1 人		
		希 望 規 模			
		9.9 トン	1.5 トン	36 トン	
下 前					
現 在 規 模	5 ~ 9.9 トン	1 人	1 人		
	15 ~ 19.9 トン	2 人		1 人	
	20 ~ 29.9 トン	2 人			

経営調査結果 55. 2 調査

1. 総所得にしめる漁業所得（第1表）

(1) 小 泊

漁業所得の依存度はトン数階層が高い程高く、低い程低いが、5トン未満でも78%を占めている。所得の最も高い階層は10~15トン、次いで15~20トンとなっており20トン以上階層は、極めて経営状況は悪い。

(2) 下 前

どの階層も漁業依存度が高く（99.8~98.2%）、経営状態のよいのは5~10トンと30~50トン階層で、その他の階層は何れも赤字で、20~30トン階層が最も不振であり、高階層程その度合いが強い。

(3) 5~10トン階層の漁業所得は、下前が小泊の2.4倍、30~50トン階層では、12.1倍となっている。

2. 漁業収入に対する漁業所得率（第2表）

(1) 小 泊

所得率のもっとも高い階層は、10～15トンの27.5%で、5トン未満（24.7%）、5～10トン（16.0%）、15～20トン階層（13.7%）の順となっており、その他の階層は極めて低い（2.5%）か、赤字経営である。

(2) 下 前

5～10トン階層が44.8%でもっとも高く、30～50トン階層（24.7%）がこれに次ぎ後の階層は何れも赤字経営となっている。

3. 漁業経費中に占める燃費比重（第3表、第6表）

(1) 小 泊

もっとも比重の高い階層は、10～15トン（27.2%）で50～75トン（24%）がこれに次いでいるが、階層が高い程燃費率の高くなる傾向がうかがえる。

34～36年に比べ54年は、5トン未満では低くなっている（16.1%）が、10～15トン階層では約3倍（32.5%）となっている。

(2) 下 前

もっとも比重の高い階層は30～50トン（23.8%）で、15～20トン階層（19.3%）が、これに次ぎ、傾向としては高階層程高い。

34～36年に比べ、15トン階層までは低くなっているが、15～20トン階層では1.5倍を示している。

4. 経営と漁業組合せとの関係（第4～第5表）

(1) 小 泊

経営状態の良い経営体の漁業組合せは第4表のとおりで、5トン未満ではヤリイカ、メバルを対象とする組合せ、5～10トンでは、アブラツノザメ、マス、メバル、スルメイカ、10～20トン階層では、マス、スルメイカの組合せとなっている反面、経営不振経営体の組合せは、5トン未満では、メバル、ヤリイカ、スルメイカを対象とする組合せ、5～10トンでは、経営良好経営体と同組合せ、20～30トンではマス、スルメイカを30～75トンではスルメイカを夫々対象としている。

(2) 下 前

経営良好経営体の組合せは5トン未満では、ヤリイカ、スルメイカを、5～10トンではマス、ヤリイカ、スルメイカを30～50トンではスルメイカを50～75トンでは、スルメイカを対象としており、不振経営体では5トン未満はマス、メバル、スルメイカ、5～10トンではヤリイカ、スルメイカ、10～30トンでは、マス、スルメイカを組合せている。

第1表 地区別階層別所得状況

(千円)

地区 階層	小 泊			下 前			a/A	b/B
	A 総所得	B 漁業所得	B/A	a 総所得	b 漁業所得	b/a		
5 トン未満	2,191	1,714	78.2%	0	0	%	%	%
5～10	2,952	2,654	89.9	6,215	6,203	99.8	210.5	233.7
10～15	9,256	9,247	99.9	0	0			
15～20	5,790	5,738	99.1	0	0			
20～30	0	0		0	0			
30～50	475	475	100	5,849	5,741	98.2	12.3倍	12.1倍
50～75	0	0		8,201	8,196	99.9		

第2表 漁業収入に対する所得率

(千円)

地区 階層	小 泊			下 前			a/A	b/B
	A 漁業収入	B 漁業経費	C 所得率	a 漁業収入	b 漁業経費	C 所得率		
5 トン未満	6,946	5,232	24.7%	9,262	9,358	%	133%	179%
5～10	16,578	13,924	16.0	18,787	10,376	44.8	113	74.5
10～15	33,599	24,352	27.5	33,000	33,813		98.2	139
15～20	41,788	36,050	13.7	40,736	42,566		97.5	118
20～30	32,996	48,494		36,096	45,943		109.3	94.7
30～50	19,144	18,668	2.5	23,253	17,512	24.7	121.5	93.8
50～75	43,621	45,683		85,000	76,803	9.6	194.9	168.1

第3表 漁業経費に対する燃費率

(千円)

地区 階層	小 泊			下 前		
	A 漁業経費	B 燃費	C 燃費率	a 漁業経費	b 燃費	C 燃費率
5 トン未満	5,232	661	12.6%	9,358	888	9.5%
5～10	13,924	2,030	14.6	10,376	1,599	15.4
10～15	24,352	6,624	27.2	33,813	5,392	15.9
15～20	36,050	8,420	23.4	42,566	8,200	19.3
20～30	48,494	9,952	20.5	45,943	7,314	15.9
30～50	18,668	4,007	21.5	17,512	4,170	23.8
50～75	45,683	10,950	24.0	76,803	11,300	14.7

第4表 良好経営体の漁業組合せ

	小 泊			下 前		
5 トン未満	ヤリイカ棒受, メバル刺網, メバル釣			ヤリイカ棒受, イカ釣		
5 ~ 10	サメ刺網, マス延縄, メバル刺網, イカ釣			マス延縄, ヤリイカ棒受, イカ釣		
10 ~ 15	マス延縄, イカ釣					
15 ~ 20	" , "					
20 ~ 30						
30 ~ 50				イカ釣		
50 ~ 75				カニ籠		

第5表 不良経営体の漁業組合せ

	小 泊			下 前		
5 トン未満	メバル釣, ヤリイカ棒受, イカ釣			マス延縄, メバル刺網, イカ釣		
5 ~ 10	サメ刺網, マス延縄, メバル刺網, イカ釣			ヤリイカ棒受, イカ釣		
10 ~ 15				マス延縄, イカ釣		
15 ~ 20				" , "		
20 ~ 30	マス延縄, イカ釣			" , "		
30 ~ 50	イカ釣					
50 ~ 75	イカ釣					

第6表 年別燃費率

(千円)

	小 泊			下 前		
	34	36	54	34	36	54
5 トン未	38 %	43.7 %	16.1	59.7 %	10.4 %	10.8 %
5 ~ 10			18.1	24.8	21.0	14.5
10 ~ 15	10.9		32.5	10.8	21.2	18.3
15 ~ 20			25.5	15.3	16.4	23.2
20 ~ 30			25.6			19.8
30 ~ 50			23.1			25.4
50 ~ 75			26.0			14.7

注 燃費率 = $\frac{\text{燃 費}}{\text{漁業経費} - (\text{減価償却費} + \text{租税公課})}$

第7表 収入, 経費, 燃費

小 泊 (千円)

階層	漁業収入			漁業経費			燃費		
	34	36	54	34	36	54	34	36	54
5 トン未満	千円 135	650	6,946	50	180	4,110	19	79	661
5 ~ 10			16,578			11,191			2,030
10 ~ 15	1,148		33,599	1,058		20,387	115		6,624
15 ~ 20			41,788			32,998			8,420
20 ~ 30			32,996			38,854			9,952
30 ~ 50			19,144			17,324			4,007
50 ~ 75			43,621			42,060			10,950

第8表 収入, 経費, 燃費

下 前 (千円)

階層	漁業収入			漁業経費			燃費		
	34	36	54	34	36	54	34	36	54
5 トン未満	400	1,153	9,262	130	781	8,214	78	81	888
5 ~ 10	1,373	800	18,787	1,505	789	11,056	374	165	1,599
10 ~ 15	1,800	1,457	33,000	1,547	1,095	29,441	167	232	5,392
15 ~ 20	3,120	937	40,736	3,325	956	35,381	510	157	8,200
20 ~ 30			36,096			36,887			7,314
30 ~ 50			23,253			16,426			4,175
50 ~ 75			85,000			64,553			11,300

注 漁業経費は減価償却費, 租税公課費を含まず。